

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 教育原理	授業の種類 （ 講義 ・ 演習 ・ 実技 ）	授業担当者 伊藤 晶	当該科目に関する実務経験 高等学校教員
授業の回数 15 回	時間数（単位数） 30 時間（1 単位）	配当学年・時期 1 年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>教育という人間の営みの根源に焦点を当てながら、古来から現在までの教育に対する取り組みを概観していく。現在の学校教育制度の成り立ちと変遷を確認しながら、すべての人の学ぶ権利の拡大と教師とは何か、学校とは何かについて学ぶことを目的とする。現在社会における学校を取り巻く環境の変化を理解しながら「教育問題」への取り組む視点を学んでいく。</p> <p>[授業終了時の達成課題（到達目標）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間活動における教育について説明できる ・ 現在の教育に影響与えた教育思想について説明できる ・ 日本の学校制度の変遷について説明できる ・ だれもが受けることの教育のあり方について説明できる ・ 現代の教育問題にはどのようなものがあるか指摘できる 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>第 1 回 人間について思考する様式・人間形成の根源と価値</p> <p>第 2 回 臨床的な理解の方法</p> <p>第 3 回 教育思想の背景と系譜</p> <p>第 4 回 学校教育制度の変遷</p> <p>第 5 回 日本国憲法下の教育施策</p> <p>第 6 回 就学前のカリキュラム</p> <p>第 7 回 就学後のカリキュラム</p> <p>第 8 回 臨床的な教育の実践</p> <p>第 9 回 教師のキャリア形成</p> <p>第 10 回 社会の中の学校組織</p> <p>第 11 回 多文化と教育統治</p> <p>第 12 回 障害発達と教育機会</p> <p>第 13 回 学校教育の問題構成</p> <p>第 14 回 人間依存と近代社会</p> <p>第 15 回 期末試験</p>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>なぜからはじめる教育原理 [第 2 版] 建帛社</p>			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点(75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 			